



# 常任委員会

# で議案を審査

## すべて可決すべきものと決定

### 総務文教常任委員会 「5項目を審査」

**燕・弥彦 総合事務組合の共同処理する事務の変更及び燕・弥彦 総合事務組合規約の変更について**

**問** 権限に属する事務の一部が、県から市へ移譲されることで、組合ではどのような効果があるのか。

**答** 高圧ガスなどの事務権限を併せ持つことで、効率的な保安指導が行える結果、事業者の保安レベルが向上し、住民の安全安心の確保に寄与できる。

**燕市入学準備金貸付基金条例の制定について**

**問** 連帯保証人を65歳未満とする要件では、厳しいものがあるのではないかと。

**答** 奨学金の例では、市長が認めるものとして柔軟に対応することもある。今後年齢要件についても必要があれば弾力的な運用をさせていただきたい。

**燕市保育園条例の一部改正について**

**問** 吉田西太田保育園が民間へ移譲されるが、吉田日之出保育園も将来的に廃園の方



吉田西太田保育園

向が示されている中、保育士などの人的配置は大丈夫か。

**答** 保育園の定員予定は170名のところ、今回の入園申し込みが1113名で定員の範囲内であり、園児数に対応する保育士は確保できる。また、吉田日之出保育園に在籍の園児の受け入れ提案も法人から受けている。

**指定管理者の指定について(燕市体育センター)ほか24施設**

**問** 物販収入について、また、25の施設で

する対象者については、必要があれば、前回同様、説明は個々に丁寧に行う心構えである。

**指定管理者の指定について(燕市分水福祉会館)**

**問** 当該施設の利用状況、特色について伺う。

**答** 施設内に事務室を置く公益財団法人燕市交通安全協会分水支部、特定非営利活動法人分水さくらを守る会、また緊急的に使用できる会議室がある。

「その他」

・平成30年度燕市一般会計補正予算(第9号)

・燕市妊産婦の医療費助成に関する条例の一部改正について

・燕市子どもの医療費助成に関する条例の一部改正について

・平成30年度燕市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

### 産業建設常任委員会 「4項目を審査」

**平成30年度燕市一般会計補正予算(第9号)**

**小売商業商店街活性化事業補助金の**

内容と件数について伺う。

**答** 小売商業者等が行う環境整備への支援を図るため、未利用店舗を改修して商売を始めようとする方への助成であり、申請の見込み件数は3件である。

**問** 市営土地改良事業については、ほ場のかさ上げをすることによって、水害が起きた場合の水防上の影響について伺う。

**答** 堤防の腹づけや、ほ場のかさ上げは、堤防の強化にもなっている。また、大津分水路の流量を増加させることも併せて行っており、心配のないよう国が工事を行っている。

**問** 市営土地改良事業は、市が換地業務を担うことになっているが、地元や土地改良区のかかわり、及び事業費を借地料の一部から負担することについて伺う。

**答** すでに地元では実行委員会、個別の換地委員会、工事委員会、互助営農委員会が組織されており、土地改良区についても、実行委員会の中で一緒に連携していただいている。事業費は、換地に係る費用として、国土交通省から支払われるほ場の借地料の中から10アール当たり8万円を負担していただく。

**問** 県央土地開発公社に係る債務負担行為の積算根拠と周辺の土地相場への影響に

**対して伺う。**  
**答** 想定する用地単価は、調査票の中では、企業によって高低差がある。まだ議決をいただけていないので、測量や設計等を行っていない中で概算の積み上げのため、少し高めの設定になっている。

は、多額の指定管理料で一括して管理を委託することから、施設ごとの会計内容を議会に示すべきではないか。

**答** 物販収入なども含め、指定管理者の会計内容については、予算決算の概要や事務報告などを利用し、具体的な形式や公表の仕方を、今後は検討する。

「その他」

・平成30年度燕市一般会計補正予算(第9号)

### 市民厚生常任委員会 「6項目を審査」

**燕市精神障害者医療費助成に関する条例の一部改正について**

**問** 「上乗せ助成」を廃止するに当たり、対象者数とこれまでの経緯、廃止後の個人負担への影響について伺う。

**答** 上乗せ助成は、平成29年6月に「県の重度心身障害者医療費助成に、1級の精神障がい者が含まれることに伴い、県単との併用を認めない」とした改正の際、入院の本人負担額が改正前に比べ増加する対象者に対し、激変緩和策として実施したもので、現在22人が受けている。

当時、激変緩和の対象者に対しては個別に、「当分の間」として説明しているが、今回の廃止で、入院の本人負担額が増加

土地購入費については、燕市の産業発展のため、地権者から理解、ご協力をいただけるよう進めていきたい。

「その他」

・指定管理者の指定について(燕市交通公園)

・市道路線の廃止について

・平成30年度 燕市水道事業会計補正予算(第2号)



大河津分水路右岸堤防強化工事